学費の公私間格差是正、『私学も無償に』、就学支援金制度の維持・拡充、

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会（事務局：全国私教連）
No.35　2024年12月12日（木）

議員本人50人をはじめ108人の議員関係者参加

12.6 学費の公私間格差・自治体間格差是正を求める院内集会

28都道府県225人が「無償化」を求める声を届ける

12月6日（金）、東京永田町衆議院第一議員会館１階多目的ホールは、全国から集まった私学の父母・教職員と7政党＋無所属の国会議員のみなさんの参加で、立錐の余地がないほどの満員状況となりました。2020年以来制度拡充なく、年収590万円未満の加算支給額が私立高校授業料全国平均額よりも５万円下回る状況、そして自治体間で私学選択について学費負担で数十万円差が生まれる自治体間格差の是正を求めて集まった院内集会です。
会場には28都道府県から父母142人高校生３人教職員80人計225人が参加しました。

臨時国会本会議の最中、校務多忙にもかかわらず集まってくださった国会議員及び代理の方々　11月28日に召集された第216回臨時国会の会期中、参議院では予算委員会が開かれている状況の中で開催された「院内集会」。ご参加くださった中には、その予算委員会で石破首相相手に質問と審議を終えて駆けつけてくださった議員もおられました。

| 本人出席議員のみなさん | | |